

## 突風と降ひょう及び落雷に関する気象情報について

井笠農業普及指導センター

岡山地方気象台の発表（5月15日4時52分）によると、16日は中国地方の上空に強い寒気が流れ込み、日本海に発生した低気圧に向かって流れ込む湿った空気や上空の寒気の影響により、岡山県では、16日昼前から夕方にかけて大気の状態が非常に不安定となる模様です。このため、竜巻などの激しい突風や降ひょう、落雷、急な強い雨等による農業施設や農作物等への影響が懸念されるところです。

今後の、最新の気象情報に御留意いただくとともに、作業者の安全確保にも注意喚起をお願いいたします。

突風と降ひょう及び落雷に関する岡山県気象情報 第1号（令和6年5月15日4時52分 岡山地方気象台発表）

岡山県では、16日昼前から夕方にかけて大気の状態が非常に不安定となるため、竜巻などの激しい突風や降ひょう、落雷、急な強い雨に注意してください。

16日は、中国地方の上空約5500メートルに、氷点下2.1度以下のこの時期としては強い寒気が流れ込む見込みです。また、15日夕方までに日本海西部に低気圧が発生し、17日にかけて発達しながら日本海を北東へ進む見込みです。

この低気圧に向かって流れ込む湿った空気や上空の寒気の影響により、岡山県では、大気の状態が非常に不安定となるため、16日昼前から夕方にかけて、竜巻などの激しい突風や降ひょう、落雷、急な強い雨に注意してください。農作物や農業施設の管理にも注意が必要です。

発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。